



## Web サイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究代表者：白阪 琢磨（国立病院機構大阪医療センター  
HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン）

### 研究要旨

HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究班の Web サイト [www.haart-support.jp](http://www.haart-support.jp) は 2004 年に開設し、その後、継続的に研究分担者の成果や講習会の情報など、患者向け情報から医療関係者向け情報まで多様なコンテンツを掲載している。

この報告書では 2018 年から 2000 年までの更新内容とアクセス数を報告する。またホームページ上ではアンケートや、記載内容の有用性についてユーザーが評価できるシステム（以下、ページアンケート）を導入しており、その集計も報告する。

なおアクセス数の集計には Google アナリティクス、Google Tag Manager、Search Console を利用しているが、個人を特定できる情報は収集していない。

### 研究目的

Web の世界では技術が発展する速度が速く、閲覧者を取り巻く環境も目まぐるしく変化する。近年では閲覧者の使用機器がパソコン（PC）から携帯端末（スマートフォンやタブレット）にシフトし、情報の伝達経路はホームページから SNS へとシフトしていった。そのような状況の中では、継続してアクセス数を集計し、閲覧数（ページビュー（PV）数）がどのように推移しているかを把握することが重要である。その動向を分析することで閲覧者の傾向やニーズを把握し、効果的に情報発信することが本研究の目的である。

また 2004 年の Web サイト開設当初からコンセプトとしていたのがユニバーサルデザインである。視覚的な効果に頼らず、誰でもどのような環境からでも、知りたいと思う情報に容易にアクセスできる Web サイトの構築を目的としている。



図 1 トップページ

## 研究方法

### (1) 最新の技術を用いたサイト構築

Webの利用者は多くの場合、Google等の検索エンジンを用いて目的の情報を得ようとする。このため検索結果で上位に表示されることは重要である。検索順位を決めるアルゴリズムの詳細は非公開であるが、それでもスマートフォンに対応しているか否か、表示スピードが速いか否かなどが検索順位に影響することは広く知られている。それらの情報を基に最新の技術を取り入れ、研究班として相応しいサイトを構築する。

### (2) アクセスログの解析

Google アナリティクス、Google Tag Manager、Search Console を採用し、訪問数やページビュー数などを解析する。

### (3) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部に「このページは役に立ちましたか？」との質問に対して評価項目(役に立った／一部、役に立った／役に立たなかった)を選択し、送信できるプログラムを設置している。(図2)

送信ページも把握できるようにしているため、ページごとに評価の分析が可能である。

図2 ページアンケート

### (4) Web サイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケートの送信ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

- このホームページをどこでお知りになりましたか?  
【選択項目】 検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他
- お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか?

【選択項目】 薬カード／Q & A／患者向説明文書(翻訳)／添付文書

- このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。
- このホームページに関するご意見、ご要望があればご記入ください。
- 抗 HIV 薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。
- 年齢
- 性別
- あなたの立場についてお教えてください。

【選択項目】 患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

## 研究結果

### (1) サイト全体のアクセス数

#### ①セッション(訪問)数とページビュー(PV)数

セッション(訪問数)とは、ユーザーが当サイトに訪れてから他のサイトに移動する(またはブラウザを閉じる)までの一連の行動のことである。他のサイトに移動(またはブラウザを閉じる)して30分を経過すると、同じユーザーでも新たなセッションとしてカウントされる。

ページビュー(PV)数は、ユーザーが閲覧したページをすべて集計したものである。

3年間のセッションとページビュー数を表1にまとめた。

表1 セッションとページビュー

指標	2020年	2019年	2018年
セッション	401,079	378,462	167,492
ページビュー	627,875	578,473	261,073

2018年に対して2019年は、セッションとページビュー数共に2倍以上に増加し、2020年は微増となった。

2019年に急激に増加した原因を調べたところ、検索キーワード「HIV 初期症状」で検索し、当サイトの「感染初期の診療－急性感染検査外来－について」にアクセスしているケースが急増していることがわかった(2017年:2,298PV、2018年:36,626PV、2019年:141,511PV)。実際にGoogleで検索してみると、通常の検索結果リストの上に「感染初期の診

療一急性感染検査外来一について」内の「急性感染とは」の説明文と URL、リンクが表示された。これは強調スニペットと呼ばれる機能で、検索結果「0」位とも呼ばれる。Google は入力された検索キーワードが質問と解釈すると、その回答ページが自動的に抽出され、検索結果に強調スニペットとして表示される仕組みを採用している。この強調スニペットに当サイトの「感染初期の診療一急性感染検査外来一について」が表示されたことがアクセス数増加の大きな要因になったと考えられる。なお現在は「HIV 初期症状」で検索すると他サイトが表示される。

## ② 流入元

どのような経路でアクセスしてきたかを表2に示す。

表2 流入元別セッション数

流入元	2020年 (%)	2019年 (%)	2018年 (%)
キーワード検索	371,763 (92.69%)	350,396 (92.58%)	145,748 (87.02%)
お気に入り/ブックマーク/メールの URL 等	21,472 (5.35%)	20,604 (5.44%)	15,010 (8.96%)
他サイトからの参照	6,957 (1.73%)	7,271 (1.92%)	6,576 (3.93%)
ソーシャルメディア	887 (0.22%)	189 (0.05%)	158 (0.09%)
その他	0	2 (0.00%)	0

流入元としては2019年にキーワード検索の比率が90%を超え、2020年も微増となった。

## ③ アクセス端末

閲覧者の端末をモバイル、デスクトップ、タブレット別に集計したのが表3である。

表3 端末別セッション数

デバイス	2020年	2019年	2018年
モバイル	263,531 (65.71%)	274,945 (72.65%)	102,190 (61.01%)
デスクトップ	123,528 (30.80%)	85,903 (22.70%)	53,711 (32.07%)
タブレット	14,020 (3.50%)	17,614 (4.65%)	11,591 (6.92%)

モバイルが60%以上を占める。2019年には70%を超えるが、2020年には7ポイントほど下がった。対してデスクトップは2019年から2020年にかけて8ポイント増加した。2020年は新型コロナウイルス(COVID-19)の影響で在宅が推奨され自宅のPCを使用することが増えたためと思われる。

## ④ 抗 HIV 治療ガイドライン

(研究分担者：四本美保子／鯉淵智彦)

<https://www.haart-support.jp/guideline.htm>

抗 HIV 治療ガイドラインはこれまで PDF を公開してきたが2018年11月27日にスマホ/PC版を公開した。スマホ/PC版はスマートフォンのような小さな画面でも最適化して表示でき、PCのブラウザでも幅に合わせてフレキシブルに可変して表示できるため、拡大する必要がない。

1年ごとの閲覧数は表4に、版ごとの閲覧数は表5抗 HIV 治療ガイドライン版別閲覧数のとおりである。(2020年版は2019年12月31日までの集計)



図3 2020年3月版

表4 抗 HIV 治療ガイドライン年別閲覧数

種別	2020年	2019年	2018年
PDF版	13,941	13,412	14,588
改訂のお知らせPDF	2,383	2,341	4,095
スマートフォン/PC版	181,765	135,398	3,018
合計	198,089	151,151	21,701

表5 抗 HIV 治療ガイドライン版別閲覧数

種別	2020年版	2019年版	2018年版
PDF版	11,441	13,865	13,723
改訂のお知らせPDF	1,440	2,620	4,759
スマートフォン/PC版PV	49,405	240,192	31,121
合計	62,286	256,677	49,603

※2020年版は2019年12月31日までの集計

2018年11月27日にスマホ/PC版を公開したため、2019年にはアクセス数が大幅に増加した。なおPDF版は1冊のアクセス数なのに対して、スマートフォン/PC版は100ページ余りの個別のページに対するページビューの合計である。

⑤ 推奨処方エビデンスとなる臨床試験  
(四本美保子/鯉渕智彦)

<https://www.haart-support.jp/evidence/index.htm>

2019年は1489試験, 1490試験, ONCEMRK試験を追加した。

2020年度は新たに AMBER試験, GEMINI 1 & 2試験, DRIVE-FORWARD試験, DRIVE-AHEAD試験を追加した。

**初回治療として選択すべき抗HIV薬の組合せ**  
試験名をクリックすると、概要のページが表示されます。

最も推奨される組み合わせ	その他の推奨される組み合わせ
<b>INSTI</b>	<b>INSTI</b>
<b>BIC/TAF/FTC</b> 1489, 1490	<b>DTG/3TC</b> GEMINI 1 & 2 <b>new</b>
<b>DTG/ABC/3TC</b> SPRING-2, SINGLE, FLAMINGO, 1489	<b>EVG/cobi/TAF/FTC</b> GS104, GS111
<b>DTG+TAF/FTC</b> 1490	<b>NNRTI</b>
<b>RAL+TAF/FTC</b> (※TDF/FTCとして ONCEMRK, STARTMRK, SPRING-2)	<b>DOR+TAF/FTC</b> DRIVE-FORWARD <b>new</b> , DRIVE-AHEAD <b>new</b>
<b>PI</b>	
<b>DRV/cobi/TAF/FTC</b> AMBER <b>new</b>	
<b>DRV+riv+TAF/FTC</b> (※TDF/FTCとして ARTEMIS, FLAMINGO)	
<b>NNRTI</b>	
<b>RPV/TAF/FTC</b> (※RPV/TDF/FTCとして ECHO, THRIVE)	

○赤字が主要な比較試験。  
○グリーンは対照群となっているもの。

**過去の臨床試験**

- NCT01440569試験 : DRV/c + TDF/FTC
- GS102試験, GS103試験 : EVG/cobi/TDF/FTC
- CASTLE試験 : ATV + riv + TDF/FTC
- ALERT試験 : ATV + riv + TDF/FTC
- CNA30024試験 : EFV + ABC/3TC
- GS8934試験 : EFV + TDF/FTC
- ACTG5202試験 : EFV + TDF/FTC, EFV + ABC/3TC, ATV + riv + TDF/FTC, ATV + riv + ABC/3TC

**診療の参考となるその他の臨床試験**

- 早期の抗HIV治療が二次感染予防となるかを評価 (HPTN052試験)
- TDF/FTC群とABC/3TC群の48週後の腎機能評価 (ASSERT試験)
- CD4数に応じて治療開始と中断を繰り返す間欠治療群と、治療継続群とを比較 (SMART試験)
- キードラッグ2剤のみを使用した場合の効果 (ACTG5142試験)
- 治療開始基準の参考となる大規模コホート (NA-ACCORD)
- 抗HIV薬と心筋梗塞のリスク評価 (D:A:D試験)

図4 推奨処方エビデンスとなる臨床試験

2018年から2020年のページビュー数は表6のとおりである。

表6 推奨処方エビデンスとなる臨床試験のPV数

年	PV
2018年	2,249
2019年	1,733
2020年	1,848

各試験ごとのページビュー数は表7のとおりである。なお各試験は公開時期が異なるため単純な比較はできない。

表7 試験別PV数

試験名	2020	2019	2018
SMART試験 間欠治療群と、治療継続群とを比較	176	186	129
ACTG5142試験 キードラッグ2剤のみを使用した場合の効果	148	106	132
HPTN052試験 早期の抗HIV治療が二次感染予防となるかを評価	76	148	203
SPRING-2試験 DTG+NRTI2剤 vs RAL+NRTI2剤	71	59	79
D:A:D試験 抗HIV薬と心筋梗塞のリスク評価	68	43	85
1489試験 BIC/TAF/FTC vs ABC/3TC/DTG	60	35	-
FLAMINGO試験 DTG+2NRTIs vs DRV rlv+2NRTIs	52	45	85
1490試験 BIC/TAF/FTC vs DTG+TAF/FTC	44	28	-
ACTG5202試験 ABC/3TC群とTDF/FTC群のランダム化比較試験	44	25	40
GEMINI 1 & 2試験 DTG/3TC vs DTG+TDF/FTC	42	-	-
ARTEMIS試験 LPV/rを対照群とし、DRV/rの非劣性のRCT	36	31	41
SINGLE試験 DTG+ABC/3TC vs EFV/TDF/FTC	35	28	132
STARTMRK試験 EFVを対照群とし、RALの非劣性のRCT	32	24	52
NA-ACCORD試験 治療開始基準の参考となる大規模コホート	31	40	26
ASSERT試験 TDF/FTC群とABC/3TC群の48週後の腎機能評価	29	27	44
ECHO試験 RPV+TDF/FTC vs EFV+TDF/FTC	28	26	33
ONCEMRK試験 RAL1200mgの1日1回 vs RAL400mgの1日2回	26	13	-
GS104, GS111試験 EVG/cobi/FTC/TAF vs EVG/cobi/FTC/TDF	17	41	91
THRIVE試験 RPV+2NRTIs vs EFV+2NRTIs	17	25	22



CASTLE 試験 LPV/r を対照群とし、ATV/r の非劣性の RCT	15	25	13
NCT01440569 試験 DRV/c の試験（アメリカ、56 施設）	14	25	28
ALERT 試験 FPV/r 群と ATV/r 群との RCT	11	4	7
AMBER(3001) 試験 DRV/cobi/FTC/TAF vs DRV/cobi+FTC/TDF	9	-	-
DRIVE-AHEAD 試験 DOR/3TC/TDF vs EFV/FTC/TDF	9	-	-
GS102 試験 EVG/cobi/TDF/FTC vs TDF/FTC/EFV	7	17	89
CNA30024 試験 AZT/3TC を対照群とし、ABC/3TC の非劣性の RCT	6	8	16
GS103 試験 EVG/cobi/FTC/TAF vs TDF/FTC/ATV rtv	6	25	20
GS934 試験 AZT/3TC を対照群とし、TDF/FTC の非劣性の RCT	1	8	26
総ページビュー数	1,848	1,733	2,249

⑥福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策（研究分担者：山内哲也）

<https://www.haart-support.jp/institution.htm>

ここでは社会福祉施設で働く方を対象に、研修会のお知らせと、冊子「HIV/AIDS の正しい知識」の PDF 版を掲載している。PDF は 2019 年 5 月 7 日に第 2 版に更新した。

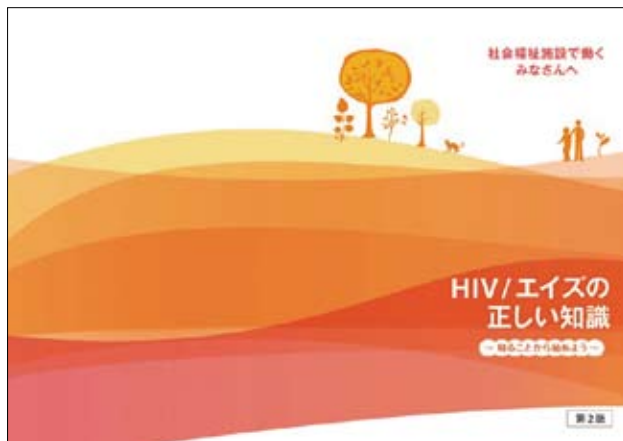


図 5 HIV/AIDS の正しい知識

年別のページビュー数と PDF 閲覧数は表 8 のとおりである。

表 8 福祉施設における HIV 陽性者の受け入れ課題と対策の PV 数

種別	2020	2019	2018
ページビュー数	1,193	1,209	751
HIV/AIDS の正しい知識 第 2 版（平成 31 年版）PDF	554	527	-

HIV/AIDS の正しい知識（全章版）PDF	-	115	751
HIV/AIDS の正しい知識（抜粋版）PDF	-	68	751

⑦エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携に関する研究（研究分担者：安尾有加）

[https://www.haart-support.jp/hospital\\_home.htm](https://www.haart-support.jp/hospital_home.htm)

ここでは訪問看護師を対象とした研修会のお知らせと、冊子「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」の PDF 版を掲載している。PDF は 2019 年 5 月 7 日に更新した。



図 6 在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと

年別のページビュー数と PDF 閲覧数は表 9 のとおりである。

表 9 エイズ診療拠点病院と在宅あるいは福祉施設の連携の PV 数

種別	2020	2019	2018
ページビュー数	399	472	374
「在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと」PDF	132	192	122

⑧ HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究（研究分担者：佐保美奈子）

<https://www.haart-support.jp/nursing/index.htm>

ここでは HIV サポートリーダー養成研修のプログラムや研修風景の写真、大阪府内高等学校等への出前講義スケジュールなどを掲載している。



図 7 HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究

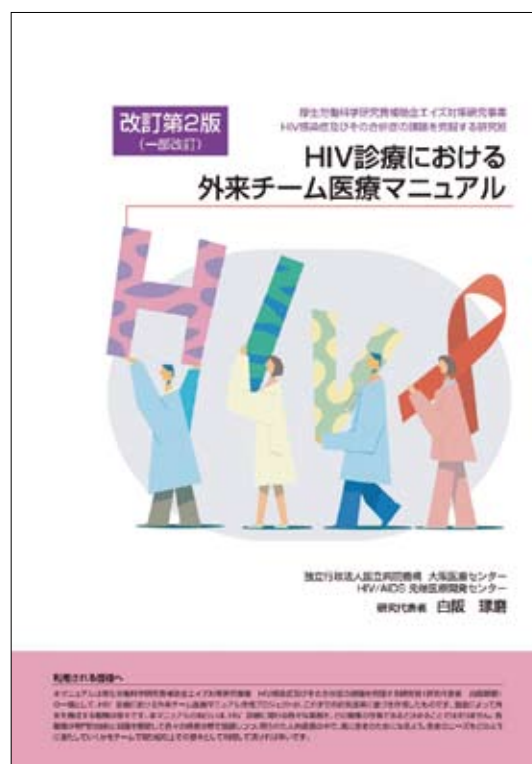


図 8 HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

年別のページビュー数は表 10 のとおりである。

表 10 HIV 看護・介護の質の向上と学校での HIV 予防教育実践に関する研究の PV 数

ページ	2020	2019	2018
トップページ	769	1,097	1,020
HIV サポートリーダー養成研修のご案内	391	753	752
お問い合わせ	34	63	40
HIV サポートリーダー養成研修の風景写真	25	45	46
HIV サポートリーダー養成研修申し込み	9	81	147

⑨ HIV 診療における外来チーム医療マニュアル

<https://www.haart-support.jp/manual/index.htm>

HIV 診療における外来チーム医療マニュアルは HTML 版と PDF 版を公開している (図 8)。2018 年から 2020 年のページビュー数と PDF 閲覧数は表 11 のとおりである。

表 11 外来チーム医療マニュアルの閲覧数

ページ	2020	2019	2018
HTML 版	61,259	49,058	32,179
PDF 版	300	278	367

ページごとの閲覧数では、毎年、「資料 1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて」([https://www.haart-support.jp/manual/c04\\_01.html](https://www.haart-support.jp/manual/c04_01.html)) へのアクセスが最も多い。(表 12)

表 12 外来チーム医療マニュアルの PV 数

ページ	2020	2019
資料 1) 医療者が普段から備えておきたい援助的コミュニケーションスキルについて	19,008	13,275
資料 5) 身体障害者手帳	10,256	7,207
③診察	4,581	5,647
5) 抗 HIV 薬・抗 HIV 療法	3,655	1,817
iv HIV 感染症と精神科診療	2,444	2,370
5) 各医療者の役割	1,887	1,132
4) パートナー・家族等への支援	1,734	1,406
資料 6) 自立支援医療	1,688	1,536
資料 4) 健康保険証と関連制度	1,303	770
9) 服薬中断症例への服薬支援	1,287	375
以下省略		
総ページビュー数	61,259	49,058

表 13 は、このページへの来訪者が Google でどのような検索キーワードで訪れたのかを集計したものである。(集計期間は 2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日まで)

表 13 2020 年の検索キーワード別クリック数

検索キーワード	クリック数
治療的コミュニケーション	886
コミュニケーション技法 看護	660
治療的コミュニケーションとは	540
コミュニケーション技術 看護	479
援助的人間関係とは 看護	465
治療的コミュニケーション技法	237

意図的なコミュニケーション	226
治療的コミュニケーション例	223
援助的コミュニケーション	213
治療的コミュニケーション精神	211

10項目中9項目で検索キーワードに「コミュニケーション」が含まれており、他1件も「援助的人間関係とは」であることから、多くの閲覧者が医療関係者間、あるいは医療関係者と患者やその周辺にいる方とのコミュニケーションに関する情報を求めていると思われる。この傾向は2018年、2019年も同様である。

⑩おくすりガイド

<https://www.haart-support.jp/information/index.htm>

おくすりガイドでは薬剤ごとに添付文書やQ&A、患者向説明文書などを掲載している（図9）。



図9 おくすりガイド

2018年～2020年のページビュー数を表14にまとめた。

表14 おくすりガイドのPV数

ページ	2020	2019	2018
ビラセプト錠 250mg の添付文書	12,149	526	337
抗 HIV 薬全般に関する Q&A	10,532	11,018	9,848
ザイアジェン錠 300mg の Q&A	8,082	5,948	550

カレトラ配合錠の添付文書	6,728	642	738
ツルバダ配合錠の添付文書	4,298	4,857	4,442
カレトラ配合錠の患者向説明文書（翻訳）	3,353	29	22
ビラセプト錠 250mg の Q&A	2,815	2,032	337
レクシヴァ錠 700 の Q&A	2,311	39	6
ノービア錠 100mg の添付文書	2,191	707	409
以下省略			
総ページビュー数	76,179	57,823	47,659

2019年の半ばまでは「抗 HIV 薬全般に関する Q&A」やツルバダ、デシコビ、トリーメクの添付文書などが多かった。しかし2019年後半になるとビラセプト (NFV) やザイアジェン (ABC)、カレトラなど、比較的初期の抗 HIV 薬の添付文書などへのアクセスが急増した。

調べてみると検索キーワードが「過敏症」「弛張熱」「間欠熱」「紫斑」などで上記の薬剤の添付文書にアクセスしていることが分かった。また「おくすりガイド」では添付文書に記載されている症状名や副作用名をクリックすると、その用語の解説がポップアップウインドウで表示されるようにしている（図10）が、その解説ページが検索結果上位に表示されることが多い。このため HIV/ エイズに限らず他の疾患による症状や副作用を調べた人も多くアクセスしてきたと思われる。

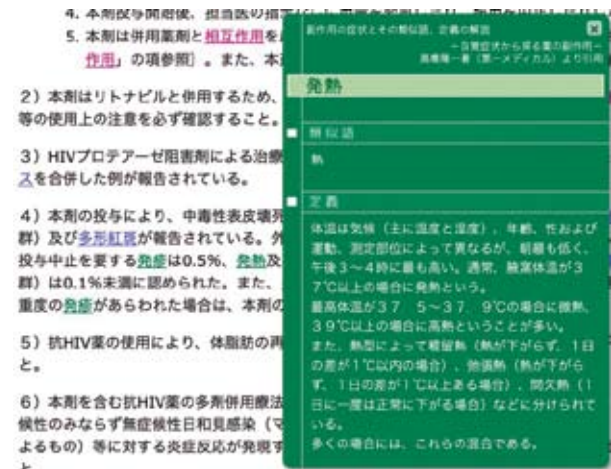


図10 「発熱」の解説を表示したところ



⑪ HIV 感染症ってどんな病気？

<https://www.haart-support.jp/aboutHIV/index.htm>

「HIV 感染症ってどんな病気？」は HIV 感染症や免疫にあまりなじみのない方の理解を助けるために作成し、2006 年末に公開した (図 11)。年別のページビュー数は表 15 のとおりである。



図 11 HIV 感染症ってどんな病気？

表 15 「HIV 感染症ってどんな病気」の PV 数

ページ	2020	2019	2018
HIV と AIDS は違う！	36,381	7,839	5,183
プロテアーゼ阻害薬	17,800	5,791	6,117
CD4 陽性リンパ球細胞の数	17,481	16,818	11,678
HIV について	12,792	6,695	3,799
HIV の増え方	12,294	7,254	4,803
HIV に感染すると	12,253	10,541	6,074
抗 HIV 薬について	9,361	2,809	2,706
免疫システムを破壊する HIV	6,913	2,903	1,561
なぜ免疫力が弱くなるの？	6,620	7,877	2,947
CCR5 阻害薬	5,710	4,997	3,828
以下省略			
総ページビュー数	206,912	138,832	88,786

総ページビュー数は 2018 年から約 1.5 倍ずつ増加している。それぞれのページから「役に立った／一部役に立った／役に立たなかった」を択一して送信するページアンケートでも「HIV 感染症ってどんな病気」からの送信が多い。中でも 2020 年 2 月から 5 月にかけては新型コロナウイルス (COVID-19) の治療薬として抗 HIV 薬が候補として注目され、同じ感染症であることからアクセス数が増加したと思われる。それはページアンケートの意見の中にも新型コロナ関連の単語が多く含まれていることから表れている。

⑫ 早わかり！症状から探す重大な副作用

このシステムは、まず症状を選び、次に服用している抗 HIV 薬を選択することで、重大な副作用に該当するかどうかを判定することができる (図 12)。

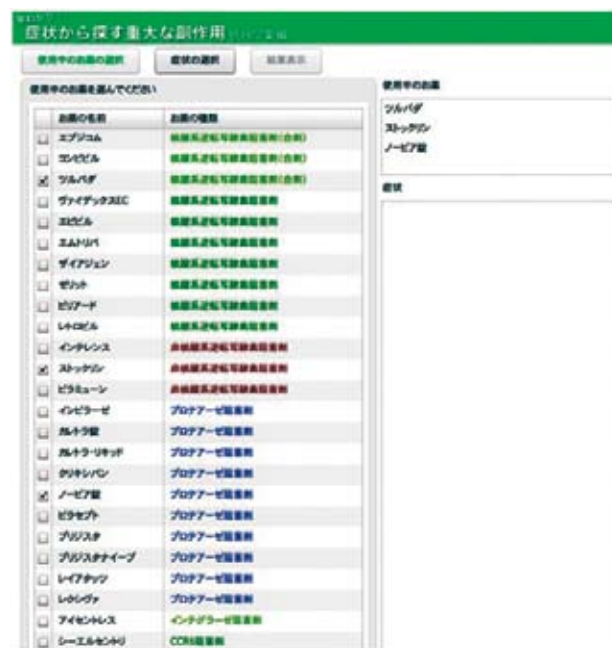


図 12 早わかり！症状から探す重大な副作用

2018 年から 2020 年のページビュー数は表 16 のとおりである。

表 16 早わかり！症状から探す重大な副作用の PV 数

年	PV
2018 年	1,420
2019 年	1,011
2020 年	874

公開は 2009 年だが、それから新しい薬剤を追加してないことから、利用者は減少傾向にある。

⑬ 感染初期の診療－急性感染検査外来－について

<https://www.haart-support.jp/adr/index.htm>

大阪医療センター感染症内科で実施されていた急性感染検査外来は平成 27 年 3 月末をもって休診となった。これに伴ってホームページもトップページには掲載せず「アーカイブ」の下に設置し、掲載内容も休診のお知らせと「急性感染とは」「感染の可能性のある行為とは」「結果が陰性の場合」「結果が陽性の場合」を 1 ページに掲載している。しかし 2018 年からこのページへのアクセスが急増し、2017 年は 2,298PV だったのが 2018 年は 36,626 PV、2019 年は 141,511 PV へと増加したが、2020 年は 43,105 PV と減少した。これは「①セッション (訪問) 数とページビュー (PV) 数」にも書いたとおり Google 検索



において強調スニペットとして表示された影響が大きいと思われる。2019年後半には強調スニペットに表示されなくなったことから、2020年は2018年の水準に減少した。

表 17 感染初期の診療—急性感染検査外来のPV数

年	PV
2018年	36,626
2019年	141,511
2020年	43,105

⑮ 冊子（紙媒体）の郵送お申し込み

<https://www.haart-support.jp/booklet/index.php>

ホームページから冊子（紙媒体）の郵送申し込みができるページを2019年7月23日に公開した。（図13）内訳を表18に示す。

**依頼者の情報**

氏名

メールアドレス

所属先

部署名

〒

住所

送付先（住所と異なる場合）

電話番号

内線番号

FAX

**ご希望の冊子**（在庫状況により、ご希望に添えない場合がございます）

※必ず1つ以上の冊子にご記入ください。

抗HIV治療ガイドライン（A4版）  冊

抗HIV治療ガイドライン（縮刷版）  冊

HIV/AIDSの正しい知識  冊

抗HIV薬 Q&A  冊

精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブック  冊

HIV感染症と精神疾患ハンドブック  冊

あなたに知ってほしいこと  冊

あなたと、あなたのいいヒトへ  冊

Healthy & Sexy  冊

**利用方法**

当てはまるものにチェックをお付けください。

研究会（ 医療従事者向け  院内職員  その他一般）

勉強会（ 医療従事者向け  院内職員  その他一般）

講演会（ 医療従事者向け  院内職員  その他一般）

その他

備考

図 13 冊子（紙媒体）郵送お申し込み

表 18 冊子（紙媒体）の郵送申し込み件数

冊子	2020年		2019年	
	件数	冊数	件数	冊数
抗HIV治療ガイドライン（A4版）	155	656	66	223
抗HIV治療ガイドライン（縮刷版）	124	594	51	176
HIV/AIDSの正しい知識	102	501	50	465
抗HIV薬 Q&A Ver.11.0	67	183	48	143
精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブック	62	192	38	213
HIV感染症と精神疾患ハンドブック	71	197	40	189
あなたに知ってほしいこと	64	474	41	512
あなたと、あなたのいいヒトへ	55	234	33	206
Healthy & Sexy	51	194	32	336
在宅医療を支えるみんなに知ってほしいこと	60	298	20	1,568
合計	811	3,523	159	4,031

※2019年は7月23日から12月31日まで。

冊子申込みの理由としては研修目的が圧倒的に多い。

(2) ページアンケートの集計

各ページからのアンケートの回答は、年を追うごとに増加している。内訳は表19のとおりである。

表 19 ページアンケートの集計結果

評価	2020	2019	2018
役に立った	209	124	96
一部、役に立った	30	22	10
役に立たなかった	18	13	6
回答数	257	159	112

各年とも「役に立った」が70%～80%を占め、「一部、役に立った」を含めると90%以上が有用であるとの評価である。

このページアンケートでは以下の意見が寄せられた。

2018年：「役に立った」と評価された意見。

（カッコ内は送信ページ）

皮膚科医1年目の者です。非常に勉強になりました。（抗HIV治療ガイドライン）

最新のガイドラインが簡単に入手できて素晴らしい  
ことです！

(抗 HIV 治療ガイドライン)

図解がありわかりやすかった。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CD4 陽性リンパ球細胞の数)

すごく、すごく分かりやすかったです m( )m

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

抗がん剤治療中の息子の為に参考になりました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 薬剤耐性 HIV とは)

大変よく理解できました。ありがとうございました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CD4 陽性リンパ球細胞の数)

小児・青少年に関する項があるので、可能であれば  
妊婦に対する項もあると現場的には大変助かります。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

HIV 感染者の父親をもつ双子のニュースでやってき  
ました。研究者本人の youtube では CCR5 のみをター  
ゲットとした編集との話だったので、そもそも精子  
をチェックすればよいのではないかと CXCRC4  
はどういう扱いだったのかが気になりました

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CCR5 阻害薬)

2018 年：「一部、役に立った」と評価された意見。

(カッコ内は送信ページ)

数字(有病率、発生率などの頻度、期間、予後)など  
が示されればより問題として納得しやすいと思いま  
す。

(HIV 診療における外来チーム医療マニュアル > HIV 感染  
症と精神科診療)

1cc は 1mL だと思いますが間違っていますか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > ウイルス量)

赤枠で示された「表 V-2 の改訂版はこちら」及び「表  
V-3 の改訂版はこちら」の内容は、2018 年 3 月改訂  
版から変わっていないようです。ご確認ください。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

CD4 陽性リンパ球についてももう少し説明がほしい。  
何故、CD4 値は感染者のほとんどで HIV 感染者の  
進行とともに減少するのか

(HIV 感染症ってどんな病気？ > CD4 陽性リンパ球細胞の数)

Sameh Monir Abdou Desouki Salem/ Egyptian  
Clinical Research Manager and Researcher Master

(Equivalency Certificate) in Clinical Pharmacy

Dear sir, I am A Clinical Research Manager,  
Researcher and Clinical Pharmacy Specialist. As  
well as, I have review ( as a Reviewer), edit ( as  
an Editor) many manuscripts, and I have achieved  
many research. Also, I have got many awards and  
certificates in research as: -Award of Best Research  
Poster in 12th Global Pharmacovigilance & Clinical  
Trials Summit conference. Sydney/ Australia.  
Available at [https://globalpharmacovigilance.  
pharmaceuticalconferences.com/2018/eposter-  
presentation.php](https://globalpharmacovigilance.pharmaceuticalconferences.com/2018/eposter-presentation.php) - Award of Best Research  
Poster in 15th International Conference on  
Pharmaceutical Formulations & Drug Delivery.  
Philadelphia/USA. Available at [https://formulations.  
pharmaceuticalconferences.com/eposter-  
presentation.php](https://formulations.pharmaceuticalconferences.com/eposter-presentation.php) I am fond of Research in  
new treatments and drugs discoveries especially  
concerned with AIDS, and I hope that I can share  
and apply these new ideas to be beneficial to you  
and to all over the world, I think we can collaborate  
and work together. If you give me the chance, I will  
be appreciated.

(トップページ)

2018 年：「役に立たなかった」と評価された意見。

(カッコ内は送信ページ)

このサイトの引用に関する利用規約項目を見つけれ  
なかった

(研究班について)

薬を飲むときに水で飲むとありますが、その後にお  
茶なども飲むと胃の中では一緒になりますが、これ  
はどう説明されますか？お茶で飲んでもジュースで  
飲んでも胃の中に入ればごっちゃになるのではない  
でしょうか？

(ピラセプト錠 250mg の Q&A)

もうちょいわかりやすくお願いします。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 病気から体を守る免疫)

2019 年：「役に立った」と評価された意見。

(カッコ内は送信ページ)

うちも AIDS をもらっています

(抗 HIV 治療ガイドライン)

わかりやすいです。一発で理解できましたありがとうございました。

(HIV 感染症ってどんな病気? > HIV の増え方)

わかりやすく、助かりました

(HIV 感染症ってどんな病気? > HIV の増え方)

的確な情報をありがとうございます。

(HIV 感染症ってどんな病気? > CD4 陽性リンパ球細胞の数)

cxcr4 阻害剤ができるといいですね

(HIV 感染症ってどんな病気? > CCR5 阻害薬)

「抗 HIV 薬」と「抗ウイルス剤」が混在している。統一すべきと思う。

(抗 HIV 薬全般に関する Q&A 第 10 版)

ARC の説明がほしい。

(HIV 感染症ってどんな病気? > なぜ免疫力が弱くなるの?)

u と ul の混在が見られる。

(HIV 感染症ってどんな病気? > なぜ免疫力が弱くなるの?)

増殖ポイント の意味が分かりにくい。

(HIV 感染症ってどんな病気? > どんな治療なの?)

ビクタルビの薬価決定から、本ガイドラインのアップ。早いですね～!びっくり。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

感染の仕方がわかりやすい

(研究者プロフィール)

性行為をしてから、どれくらい経って検査を受けたら、いいでしょうか?

(感染初期の診療-急性感染検査外来-について)

今まで知らずにやってたことがいろいろわかりました

(ピラセプト錠 250mg の Q&A)

ウイルス学勉強中の医学生だが、インテグラーゼ と逆転写酵素の関係性が分かりやすかった

(HIV 感染症ってどんな病気? > HIV の増え方)

初回治療の錠剤が閲覧できませんでした

(抗 HIV 治療ガイドライン)

もの凄く役に立ちました。早い段階の早期発見、今は認識が変わり特定の数値に属したら即治療を始めると回復の見込みがよく、それが結果として生命の寿命を長期化出来ると解りました。治療が早くても遅くても良くないのが、この疾患の特徴の一つなんですね。かと云って免疫が下がると日和見感染以外

の疾患を引き起こす確率も高くなり、バランスとマメな経過観察の必要性も在るんですね。それに CD4 に関して 100 以下だったとしても個人差が存在するでしょうが決められた治療をし患者もキチンと治療に参加すれば非感染者並みとは行かないまでも、医薬と医療の進歩、予防の観念で 400 台まで CD4 を持ち直す事が可能だと知る事がグラフで解り、あくまで可能だとしても日々の健康や自身の体調管理に努力しようと思えました。個人的にはです。個人的にですから。一番は医療の進歩の凄さと、専門医や専門医に属する医師の方々の努力や、惜しめない情熱と、それを支えて下さる看護師の方々の、日々の、努力、が在ってこそだと、常日頃から思っております。本当に、有難う御座います。感謝しております。患者に代わり御礼申し上げます。

(トップページ)

ヒトの DNA に HIV の DNA が組み込まれる仕組みを調べていたので助かりました。

(HIV 感染症ってどんな病気? > 抗 HIV 薬について)

検査の標準化ができていないのが問題ですが、加減を 800 とするのは高すぎると思います。せめて 600。上限も 1200 ぐらいでは。

(HIV 感染症ってどんな病気? > CD4 陽性リンパ球細胞の数)

不安になったらどういうタイミングで検査に行けばいいのか分からん 体調不良になってから検査受けてねってこと?

(感染初期の診療-急性感染検査外来-について)

宅峰中学校でも .11 月 28 日の総合で .エイズ学習を .保健委員会が .する予定です

(HIV 感染症ってどんな病気? > HIV に感染すると)

プロテアーゼの必要性が理解できた。

(HIV 感染症ってどんな病気? > プロテアーゼ阻害薬)

勉強になりました。ありがとうございました。

(トップページ)

2019 年:「一部、役に立った」と評価された意見(カッコ内は送信ページ)

過去のガイドラインもどこかで確認できるようにして頂けるとありがたく思います。過去のデータを PDF で持っているのですが、2018 年 3 月版をうっかり削除してしまいました。

(資料・冊子・研究報告書のダウンロード)



服薬に関する説明はあまり理解できない。

(抗 HIV 薬全般に関する Q&A 第 10 版)

調べ方と必要性は理解しました。その後の指針が大事かと思えます。ウイルス量が減る理屈、ウイルス量が減っていたのに増えた場合。その増えた場合に対しての捉え方とデメリットになりえる理由。何故、知る必要があるか？日々の生活でウイルス量を増やさない為の、例え微力で有ったとしても、方法や食材や食生活が塵も積もれば山となるだと思うので。本人の認識、自覚へも繋がる。

(HIV 感染症ってどんな病気？> ウイルス量)

もう少し細かい段階で書いて欲しい

(HIV 感染症ってどんな病気？> 免疫システムを破壊する HIV)

国立国際医療研究センターで 10 年前頃に人間ドックを受け、陽性反応になった。その後に同病院で詳細検査を受けた結果、感染していないとのことであった。希にこのような人がいると言われた。3 年前に手首の手術を受ける時の血液検査で陽性反応になり、簡易的な詳細検査を受けた結果、陰性判断になったが、必ずしも感染してはいないとのコメントがついた。感染するようなセックスをしたことはなく、困惑してる状況です。感染を疑われるようなことのない精度の良い検査方法の開発を強く希望しています。

(感染初期の診療—急性感染検査外来—について)

HIV 感染者は服薬すれば医療機関の就業も問題ないのですか？

(トップページ)

手術前に疑いと結果がでました。医師は多分大丈夫だろうと念の為。避妊はしていたので心当たりは口から以外考えにくいです。受付に間に合わなかったので明日検査にいきます。とてもショックな出来事が続き不安です。いつでるか分からない病気になってもならなくても現在苦しい思いをしています。

(外来チーム医療マニュアル)

役立った

(HIV 感染症ってどんな病気？> 病気から体を守る免疫)

意味不明でした

(HIV 感染症ってどんな病気？> CCR5 阻害薬)

2019 年：「役に立たなかった」と評価された意見

(カッコ内は送信ページ)

クスリの種類が知りたい

(外来チーム医療マニュアル)

難しい単語が多くて分かりません

(HIV 感染症ってどんな病気？> なぜ免疫力が弱くなるの？)

2020 年：「役に立った」と評価された意見。

(カッコ内は送信ページ)

レポートの参考に使わせていただきました！高校生の私でも簡潔に書かれてあって分かりやすくとても役に立ちました！イラスト付きなのも嬉しかったです！ありがとうございます？

(HIV 感染症ってどんな病気？> 免疫システムを破壊する HIV)

分かりやすい

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV の増え方)

新型コロナ(2019NCOV)にも、エイズやエボラが混じっていると聞いて調べていました。HIV を遅らせる薬で肺炎が回復するらしいですが、退院後に中国ではバタバタ倒れて亡くなっているの、ずっと飲み続けられないといけないのかな？と思って読ませてもらいました、ありがとうございます

(抗 HIV 薬全般に関する Q&A)

元はエイズが原因で治療をしなかった為に AIDS にかかってしまったと言う事であっていますか

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV に感染すると)

遺伝子？操作は自由自在に出来ると言う事がこの図式で直ぐ解るね。

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV の増え方)

新型コロナウイルスに効果があることを期待しています。

(HIV 感染症ってどんな病気？> プロテアーゼ阻害薬)

も一少しだけど、感染者に、理解しやすく、説明文に。

(HIV 感染症ってどんな病気？> インテグラーゼ阻害薬)

よくわかりました

(HIV 感染症ってどんな病気？> プロテアーゼ阻害薬)

新型コロナウイルスに効くような薬の開発をお願いします。

(HIV 感染症ってどんな病気？> プロテアーゼ阻害薬)

抗原提示細胞が活性化しないと獲得免疫系は全く働かない？

(HIV 感染症ってどんな病気？> どのように免疫システムは働くか)

素晴らしい！とても分かりやすいと思います。

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV について)

端的にまとまっており、非常にわかりやすかったです。

特に、プラモデルを例として取り上げている点が素晴らしいです。SARS-CoV-2 に対するロピナビルの服用について調べていましたが、とても参考になりました。

(HIV 感染症ってどんな病気？> プロテアーゼ阻害薬)

この検査は武漢ウイルス検査で云われている PCR 検査と同じなのでしょうか違うのでしょうか。違うならその違いも解説して戴けたら有難いし、同じなら PCR 検査の言葉にも言及して欲しい。

(HIV 感染症ってどんな病気？> ウイルス量)

U=U が医学的に認められたのはとても嬉しいです。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

高齢者の免疫力低下とトリボソーム活性力の低下の関係が今回のコロナウイルスの爆発的な分散になっているのではないのでしょうか？

(HIV 感染症ってどんな病気？> なぜ免疫力が弱くなるの？)

もっと基礎知識を身に付けないと難しい。DNA RNA は高校の生物 B で習ったが殆ど忘れた！

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV の増え方)

トリメック配合剤を長く服用、副作用症状が止まらず投薬の変更をお願いしてきましたが、この薬で大丈夫。何故なのか詳しく説明も無く体調崩して起きられません！！とても怖い。助けてください。

(おくすりガイド)

昨日、トリメック配合剤の長期間投与されて来たものです。本日先程、体調優れず主治医へ診察のお願いしましたが断られました。トリメック配合剤説明書改定されてから薬剤師さんよりいただいた携帯すべき副作用カードと同じ症状が出て、主治医へ連絡したのですが、今日は診察無し、トリメック配合剤飲まなくて大丈夫！ HIV 感染症の別な薬へ変更投与お願いしても今はしません。

服用しないで数日様子見て下さい。

服用も止まり、新しく別の薬も処方しません！体調が悪くどうして良いのか分からず、部屋に閉じこもり伏せています。そのまま死にましよう！と通告された様で怖くてたまりません。今の体調、検査数値、投薬の履歴、体調改善へ向かう、私の体にあった

HIV 薬、新薬は有りませんか？救いの薬は処方していただかず恐怖増すばかりです。助けてください！！

(トリメック配合錠の添付文書)

わかりやすくとても参考になりました。

ありがとうございました。

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV の増え方)

巧みなウイルスの活動が順番に、簡潔に説明されており、短時間で、最低限必要な知識がえられました。無駄がなく大変わかりやすい説明でした。

(HIV 感染症ってどんな病気？> トップページ)

わかりやすく参考になりました。ありがとうございました、

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV の増え方)

身近な問題だと常に思っています。HIV ではないのですが、正しい知識を持ち感染しないように、生活をしていきたいです。

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV と AIDS は違う！)

新しい情報、ありがとうございます、

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV に感染すると)

大いに役に立った。本来、新型コロナウイルスと同じ一本鎖 (+) RNA ウイルスですよ？

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV の増え方)

HIV とエイズの違い

治療で健康体と変わらず生きてゆく事ができる現在の疾患だと理解できた。

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV と AIDS は違う！)

服用したは。続ける事が、命を守る事が分かった

(HIV 感染症ってどんな病気？> 交叉耐性)

人体には BCG の抗体以外に有るのでしょうか？

(HIV 感染症ってどんな病気？> どのように免疫システムは働くか)

PDF 版の方がスマホ /PC 閲覧画面より見やすいと思いました。

(抗 HIV 治療ガイドライン)

栃木県下野市の市役所社会福祉課で、特定疾病療養証を発行してもらった所、認定疾病名 AIDS とされていた。市役所の社会福祉課で、誤った認識をしている様です。

(HIV 感染症ってどんな病気？> HIV と AIDS は違う！)

お世話になっています。神戸大学医学部病院感染症内科外来看護師〇〇と申します。アンケートのコメント欄から申し訳ございません。

先日お電話でパンフレットを請求させていただき、迅速に対応して頂きましてありがとうございました。御礼が大変遅くなりました事をお詫びいたします。サイト紹介も添付していただきありがとうございました。今後、こちらのサイトも利用させていただきたいと思います。不慣れな点が多いのですが、今後もよろしくお願い致します。

(資料・冊子・研究報告書のダウンロード)

とてもよく理解出来ました。有難うございました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

世界エイズデーの臨時検査の説明をする際の知識にと思って調べています。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > インテグラーゼ阻害薬)

分かりやすい説明である。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > どのように免疫システムは働くか)

CD4(+)T細胞から、ゲノムが細胞に移行する際、カプシドタンパクに対するタンパク分解酵素は関与していますか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

HIV の障害ランクに1から4までであるとは？勉強になりました。

(HIV 診療における外来チーム医療マニュアル > 資料5) 身体障害者手帳)

図解がわかりやすかった

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

有り難うございます

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 抗HIV薬について)

本当にお役にたちました。有り難うございました。

(感染初期の診療—急性感染検査外来—について)

学校でたまたま見かけたポスターでHIVとAIDSの違いが気になって調べていたんですけど、すごく勉強になりました。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV と AIDS は違う！)

勉強に、なりました

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV の増え方)

わかりやすかったです。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > プロテアーゼ阻害薬)

1日に二錠飲んでしまいました。どうすればいいですか？

(テビケイ錠50mgのQ&A)

2020年：「一部、役に立った」と評価された意見

(カッコ内は送信ページ)

日和見感染症の例も載せて下さい。ピンときません。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 免疫システムを破壊するHIV)

その蛋白質は、まず大きな分子として組み立てられます。このままの大きさではウイルスが組み立てられません。

ここのところをもう少し説明が欲しいです。

このサイズだとなぜウイルスが組み立てられないのか。

ひとつの部屋で作業していると過程して、たんぱく質がその部屋いっぱいのため、ウイルスを作るスペースがないから切断する、と考えればいいのでしょうか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > プロテアーゼ阻害薬)

新型コロナウイルスの治療薬として期待されていますが、HIVのプロテアーゼとコロナのプロテアーゼは同一なのでしょうか？

(HIV 感染症ってどんな病気？ > プロテアーゼ阻害薬)

自分HIVの陽性。帝京大学病院にて、治療中。薬は毎時朝7時50分から8時05分迄に、厳格に飲んでます。

(HIV 診療における外来チーム医療マニュアル > 第1章 HIV 感染症の外来診療におけるチーム医療とは)

免疫を高める食べ物が知りたかった

(HIV 感染症ってどんな病気？ > どのように免疫システムは働くか)

HIV感染者が23の合併症のいずれかを発症するとエイズ患者となる点は理解できましたが、今回のCOVID-19騒動でも感染者と発症者数が一緒になっているように感じています。

中国ではAIDS患者の数を月報等で発表していますが、HIV感染者数については、月報で発表されていません。単なる感染者と発症した患者を区分できるような用語があれば教えてください

(HIV 感染症ってどんな病気？ > HIV と AIDS は違う！)

イライラすると免疫力が弱くなってしまい、インフルエンザになりやすいです。高校1年生の時に青葉台駅のバス停で毎日横入りをする人がいつもいて、あまりにもイライラが酷くてインフルエンザにか



かったのが理由です。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > なぜ免疫力が弱くなるの？)

ゲンボイヤの二回分を一度に飲んでしまったらどうなりますか？

(抗 HIV 薬全般に関する Q&A)

少量のウイルス感染では発症するのか、もししないとしたら、どの程度の量か？研究はありますか。特に、HIV でなく、新型コロナウイルスの知りたいですが～。蚊やゴキブリ、年のドブネズミなども SARS ではウイルスを持っていたそうですし。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > ウイルス量)

特になし。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 治療法について)

特になし。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 抗 HIV 薬について)

ゆっくり食べていますが

夜にお腹がすきます

薬を飲んでに三時間後

ごはんやパンを食べても大丈夫でしょうか

(ザイアジェン錠 300mg の Q&A)

2020 年：「役に立たなかった」と評価された意見

(カッコ内は送信ページ)

抽象的すぎて何か分かったような気がしない。

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 免疫力の仕組み)

感染予防策はどこで見つけられるのでしょうか？

(不明)

わからない

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 病気から体を守る免疫)

薬の名前がない・・・

(HIV 感染症ってどんな病気？ > 逆転写酵素阻害剤)

エイズは飛沫感染します。

(HIV 診療における外来チーム医療マニュアル > 4) パートナー・家族等への支援)

うっとうしい

(HIV 診療における外来チーム医療マニュアル > 5) 抗 HIV 薬・抗 HIV 療法)

### (3) Web サイト全体に関するアンケートの集計

2018 年から 2020 年までのアンケートの内訳は表 20 のとおりである。

表 20 サイト全体に関するアンケート

設問		2020	2019	2018
年齢	10 代	2	0	0
	20 代	0	0	0
	30 代	0	0	0
	40 代	4	3	4
	50 代	2	1	2
	60 代以上	4	6	1
性別	男性	6	9	3
	女性	6	0	4
あなたの立場	患者	2	4	2
	患者の家族・友人等	0	2	2
	医療関係者	3	2	2
	その他	7	2	1
このホームページをどこでお知りになりましたか？	検索エンジン	11	8	5
	他のホームページからのリンク	0	0	1
	友人・知人に教えてもらった	0	0	0
	医療関係者に勧められた	0	0	0
	その他	0	2	1
役に立った内容	薬カード	2	1	3
	Q & A	3	4	5
	患者向説明文書(翻訳)	0	2	1
	添付文書情報	2	2	1

自由記述欄（欲しい情報、ご意見、ご要望）に入力のあった投稿を以下に紹介する。

2018 年：

CD4 数について調べていたらたどりつきました。

(立場：その他)

[4. ご意見、ご要望]

周囲の人間に関するサイトがなかなか無く助かりました。

今後、患者本人だけではなく、周囲のサポートする立場の人達の為の情報発信がもう少し充実してくれることを願ってます。

(立場：患者の家族・友人等)

2019 年：

[ほしい情報]

全国の最新拠点病院とその直通連絡先。

最新の拠点、ブロック病院がキチンと解っていれば、担当医に報告の上、出先地域の最寄り拠点、ブロックへ体調を崩しても、最短で手間もなく神札して貰

えるので。

(患者の家族)

一番は365日24時間、生活を共にしてhivキャリアの方をサポートし、手助けしている、身近な人、が居ます。

その方へのケアを含めて、病院や福祉等も関わり手助けして頂ける、サポート体制が在れば、すべてを背負わず抱えず苦しい思いが、和らぎます。

そう言う情報を発信して終わりではなく、関わって頂ける情報をホームページへ、紹介して頂けると助かります。

団体等の情報ではなく国の福祉の生きた情報が、知りたいです。

(患者の家族)

抗HIVの薬の進展度

(立場不明)

CD4陽性のふやす方法。

(患者)

[4. ご意見、ご要望]

感染科の担当医先生や看護師スタッフへ、直通で繋がる、メールアドレスが在れば、もの凄く助かります。対面では云えない事もあるので。

(患者の家族)

時代が新しくなり、情報も日々更新され変わっていきます。

その上で、時代がかわり次のステージに世の中が、進もうとしています。

HIVに関して、予防策の一つとして新しく発案された、医薬を予め摂取し、予防をすると云う方法が世界で、拡がりつつあります。

認可され始めている国も多くなりました。

賛否両論や道義的な思想等も在る事は、重々承知し理解をしています。

その上で間違えた知識を得て、同じ過ちを犯さないように、暴露前予防策、暴露後予防策に対する、情報の必要性を議論し、一定数は必ず趣旨とは違う認識をする輩もいますが、情報開示もしくは会合等で、前向きに議論して頂ければ嬉しく思います。

(患者の家族)

2020年：

[ほしい情報]

これから加えられるかも知れませんが、今問題になっ

ている新型コロナウイルスにHIV治療薬を投与した結果についての情報があればいいと思います。

今、日本の新規感染者の情報が、ざっとわかたりしたらいいかな。

[4. ご意見、ご要望]

トップページに検索窓が欲しいです。

どこのページを見ていいかわからずとりあえず単語で検索したいという場合に。

(グーグルで簡単に設置するソースがあったかと思えます)

## 考察

当サイトのページビュー数は計測開始後ゆるやかに増加を続けていたが、2014年から減少しつつあった。しかし2018年には前年比1.6倍に増加し、2019年はさらに前年比2.2倍に増加した(図14)。その要因としてはまずスマートフォンの普及が考えられる。スマートフォンでいつでもどこからでもインターネットに接続することが可能となったため、全体として当サイトを閲覧する人が増えたと考えられる。

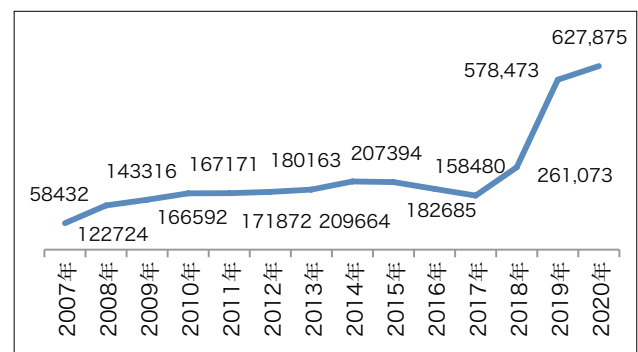


図14 1年ごとのページビューの推移

また2019年には「hiv 初期症状」「エイズ 初期症状」等で検索すると、「感染初期の診療ー急性感染検査外来ーについて」のコンテンツが抜粋で表示されていた時期があった。これは強調スニペットと呼ばれる領域で、アクセス数が増加した一因になった。

閲覧数が2019年に大幅に増加した要因として、もう一つ大きいのは抗HIV治療ガイドラインのスマホ/PC版である。毎年PDFで公開していたが、スマートフォンやPCに最適化したページを作成し2018年11月27日に公開した。2019年はPDFの閲覧数が11,365に対してスマホ/PC版は135,398ページビューで、サイト全体に占める割合は23.41%である。

2020年は新型コロナウイルス(COVID-19)の影

響で感染症に対する関心が高まり、加えて2月～5月頃にかけては治療薬として抗HIV薬が有効ではないかとの報道もあり、アクセス数は増加した。

お薬ガイドの添付文書へのアクセスでは「弛張熱」や「間欠熱」などのキーワードで検索し、訪れたケースが増えてきている。これらは閲覧者にとって本来の目的では無いかもしれないが、その過程で当サイトを訪れることは有意義であると考え。普段、HIVというウイルス、AIDSという病気には関心が無いかもしれないが、誰でも感染する可能性があるウイルスであり、身近な人が感染していても不思議ではない病気である。エイズの歴史は差別との戦いの歴史でもあり、今なお差別されることがある病気であることから、正しい知識を身に付けることは重要である。そしてこのようなWebサイトがあることを知るだけでも、将来必要となったときに有用になると考える。

## 結論

www.haart-support.jpは2004年に開設した。まだスマートフォンのような携帯端末は一部の人だけが持ち、インターネット回線も遅く今ほど普及していない時期である。したがってホームページもHIV/AIDSに関するサイトは少なかった。そのような時代に開設した当サイトは、厚生省（当時）の研究班ということあり、正しい知識と最新の知見を公開する貴重な存在であったと考える。また当時から医療関係者向けのみならず患者向けの情報まで幅広く掲載しており、現在でもこれだけ歴史があり幅広いコンテンツを掲載しているWebサイトは類をみない。このため検索エンジン等でも常に上位にランクされ、近年は特にアクセス数が大幅に増加していることから、有用性や価値が高いと考える。

またアンケートの90%以上が「役に立った」「一部役に立った」と評価し、好意的な意見も多いことから、医療関係者から患者さんに至るまで幅広い人々に最新の知識と正確な情報を伝えることに貢献したと考える。

## 健康危険情報

該当なし。

## 研究発表

なし

## 知的財産権の出願・登録状況

該当なし。